取扱説明書

FlexScan L371/L671

液晶カラーディスプレイ



絵表示について

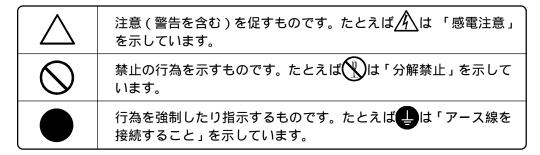
本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、平成6年10月3日付け通商産業省エネルギー庁公益事業部長通達、6資公部 第 378号、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



Copyright© 2000 株式会社ナナオ All rights reserved.

- 1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Apple、Macintosh は Apple Computer Inc.の登録商標です。IBM、VGA は International Business Machines Corporationの登録商標です。VESA、DPMS は Video Electronics Standards Associationの商標です。Windows は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。NEC は日本電気(株)の登録商標です。

ScreenManager、PowerManager、i・Sound は株式会社ナナオの商標です。EIZO、FlexScan は株式会社ナナオの登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

 使	用上の注意	4
第1章	はじめに 1-1. 特長 1-2. 梱包品の確認 1-3. 各部の名称	10 11
第2章	接続手順 2-1. 接続の前に 2-2. 接続手順 2-3. デジタル信号入力の場合	14 15
第3章	ScreenManager 3-1. 操作方法 3-2. 機能一覧 3-3. 特殊機能	18 19
第4章	画面調整/設定 4-1. 画像調整 4-2. 低解像度の画面を表示した場合 4-3. カラー調整 4-4. 節電設定について	21 25 27
第5章	画面調整/設定(デジタル信号入力)5-1. 画像調整5-2. 低解像度の画面を表示した場合5-3. 節電設定について	29 30
第6章	USB の活用	32
第7章	2台のコンピュータをつなぐ	34
第8章	アーム取付方法	36
第9章	故障かなと思ったら	38
第10章	お手入れ	42
第11章	仕樣	43
第12章	用語集	46
第13章	さくいん	48
第14章	付録	49
	ш <i>И</i> э	

 Λ

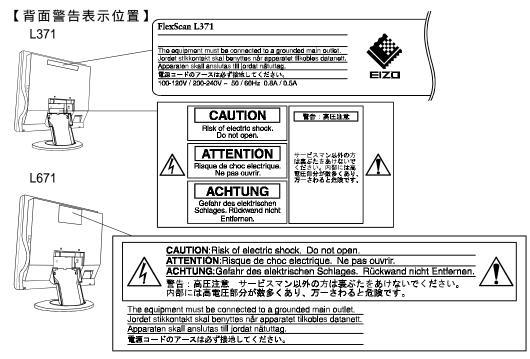
サー ビュアフター

△ 使用上の注意

重要

本製品は、日本国内専用品として製造・販売されております。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

ご使用になる前には、「使用上の注意」およびディスプレイ背面の「警告表示」をよくお読みになり、必ずお守りください。



⚠警告

万一、異常が発生したら、電源プラグをすぐ抜く

異常現象(煙、変な音、においがするなど)が発生した場合、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用されると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを取り外したり、改造したりしない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。修理は専門のサービスマンがおこないます。



修理は販売店など に依頼する

⚠警告

異物を入れない

通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電、故障の原因となります。



異物を入れない

液体を置かない

本体内部に液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。 万一、本体内部に液体をこぼしたり、異物を落としてしまった場合には、 すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡くださ い。点検、修理の必要があります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置くと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



安定した場所に置く

次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。

油煙や湯気が直接当たるような場所や熱器具、加湿器の近く。



設置場所に注意

プラスチック袋はお子様の手の届かないところに保管する

ディスプレイを包装してあるプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原 因となります。



プラスチック袋 **で遊ばない**

i・Sound(オプションスピーカー)への電源端子のふたはお子様の手の届かないところに保管する

i・Soundを取り付けた際に取り外した電源端子のふたを、お子様が誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



取り外した電源端子 のふたの保管場所に 注意する

▲ 警告

電源コードは必ず付属のものを使用する

それ以外の電源コードを使用すると火災や感電の原因となります。

付属の電源コード を使用する





プラグ部分を持つ

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持つ

電源コードやケーブル類を抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグの部分を持ってください。コード部分を引っ張るとコードが傷ついて、火災、感電の原因となります。

電源コードのアースリードを接地する

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード(緑)を必ず接地してください。接地する場合は、必ず電源プラグを電源につなぐ前におこなってください。また接続を外す場合は、先に電源プラグを抜いてからおこなってください。感電の原因となります。



アースを接地する

二芯アダプタのアースリード線、および三芯プラグのアース部が、使用していないコンセントの電極に接触しないようにしてください。

なお、本製品は日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドライン (PC-11-1988) に適合しております。

誤った電源接続をしない

表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災や感電、故障 の原因となります。

タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因となります。 電源はコンピュータのサービスコンセントなどから取らないでくださ い。火災や感電の原因となります。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったり、加工したり、束ねて結んだりすると電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



^{電波 コートを} 傷つけない

雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

雷が鳴り出したら電源プラグや電源コード、ケーブル類には絶対に触れないでください。感電の原因となります。



6

アームに取り付ける場合は確実に設置する

アーム(あるいは別のスタンド)を使用する場合は、それらの取扱説明書 の指示にしたがい確実に設置してください。なお、取り付けには、必ず本 機に付属しているネジを使用してください。確実に設置されていないと、 外れて落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落と した場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡 ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用 し、確実に固定してください。

液晶パネルが破損した場合は素手で触れない

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れないでください。 触れる場合には、液体を通さないポリ手袋などを使用してください。もし 触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

した場合は、素手 で触れない

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目を よく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を 起こす恐れがあります。

廃棄する場合、一般の廃棄物と一緒にしない

ごみ廃棄場で処分されるごみの中に液晶ディスプレイを捨てないでくださ い。 本機に使用の蛍光管(バックライト)の中には水銀が含まれています ので、廃棄にあたっては地方自治体の条例または規則にしたがってくださ L1



運搬のときには、以下のことに注意する

接続してある電源コードやケーブル類、i·Sound 取り付けてある場合) を外してください。手足や周囲にケーブルやコードを引っ掛けたり、 移動中に i·Sound が外れて落ちたりして、けがの原因となることがあ ります。

ディスプレイを移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で 持つようにしてください。落としたりするとけがや故障の原因となる ことがあります。

ボタンなどで液晶パネル面を傷つけたり、周囲のものにぶつけたりし ないでください。破損したり、けがの原因となることがあります。

コードやケーブル、 i・Soundは外して 移動する



パネル面を 傷つけない

通風孔をふさがない

通風孔の上や周囲に本や書類など、ものを置かないでください。 風通しの悪い狭いところに置かないでください。

横倒しや逆さにして使わないでください。

上記のようにして通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や故障、感 電の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

屋外や車載用に使用しない

本機は屋内専用仕様です。屋外や車載用に使用しないでください。火災や 感電、故障の原因となることがあります。



屋外、車載使用禁止

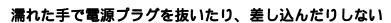
ディスプレイの角度を変える際に、i・Sound(取り付けてある場 合)を持って動かさない

すき間に手をはさんでけがをしたり、i・Soundが外れたりする原因となる ことがあります。



i・Sound部分を持って 角度を変えない

一日の作業の終わりや長期不在などで、本製品を使用しない場合 には、安全および省エネルギーのため電源プラグも抜く



感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く



濡れ手禁止

電源プラグの周囲にものを置かない

異常現象が発生した場合、すぐ電源プラグを抜くことができるように、周 辺にものを置かないでください。



クリーニングの際は電源プラグも抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となることがあります。



■源プラグを抜く

クリーニングの際には溶剤や薬品などを使用しない

キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでくださ L la



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となることがあります。



正しくご使用いただくために

無理な姿勢で長時間使い続けると健康を損ねる原因となることがあります。以下の点に注意してご使用ください。

イスに深く腰掛け、背筋を伸ばす イスの高さを足の裏全体が着く高さに調節する 両手が床とほぼ平行になるようにする ディスプレイ画面は目の高さよりやや低い位置に設置する



画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響を及ぼすことがあります。 状況に応じてディスプレイ画面の明るさを調整してください。

長時間ディスプレイ画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

オプション品のi・Soundを取り付けるとき以外は、本機底面の電源端子のふたを外さないでください。i・Soundについては、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

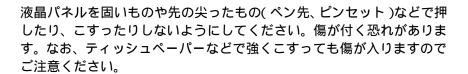
液晶パネルについて

画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、 液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶パネルに使用される蛍光管(バックライト)には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。

(液晶パネルを押したあとが残った場合、画面表示を白い画面などに変更 すると解消されることがあります。)





第1章 はじめに

このたびは当社液晶カラーディスプレイをお買い求めいただき、誠にありがとうござい ます。

1-1. 特長

2系統信号入力搭載

DV I p. 46) デジタル入力 (TMDS p. 47)) 対応

L371: 水平周波数 27~61Hz

垂直周波数 50 ~ 85Hz (デジタル信号入力時 60Hz)

表示解像度:1024ドット×768ライン

L671: 水平周波数:27~82kHz

垂直周波数:50~85Hz(デジタル信号入力時60Hz)

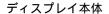
表示解像度:1280ドット×1024ライン

拡大表示時の画面調整にスムージング (ソフト~シャープ)機能搭載 オートアジャスト機能、画面調整ソフト(付属)により画面調整が容易

USBハブ機能搭載

1-2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。





二芯アダプタ



電源コード



信号ケーブル

(MD-C87/MD-C100)



コネクタカバ -



スタンドカバ -(本体に付いています)



EIZO USBケ-ブル(MD-C93)*

*標準色(グレー)仕様のみ付属



ア - ム (スタンド) 取り付け用ネジ

M4 x 12mm 4本

4444

「EIZO LCDユーティリティディスク」

(Windows®/Macintosh 共通)



取扱説明書(本書)



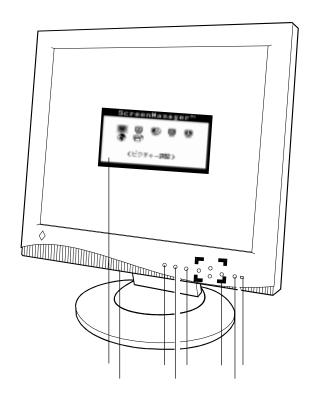
保証書





梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

1-3. 各部の名称 前面



ScreenManager™

i・Sound™(オプションスピーカー)用電源端子カバー(底面)

入力切り替えボタン

オートボタン

エンターボタン

コントロールボタン

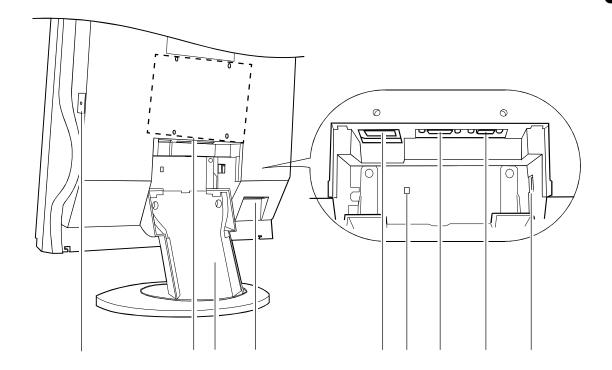
電源ボタン

電源ランプ 1

S	
色	ディスプレイの状態
緑	オペレーションモード
黄	節電モード
黄2回点滅	節電モード (デジタル信号入力時)
黄ゆっくり点滅	電源ボタンオフ状態(主電源スイッチオン)

¹オフタイマー設定時の電源ランプ表示についてはp.20を参照してください。

背面



主電源スイッチ

アーム / スタンド 取り付け穴 2

スタンド 2

USB ダウンストリームポ - ト L371x2/L671x4

電源コネクタ

盗難防止用ロック 3

DVI-I 入力コネクタ

D-SUB15 ピン (ミニ) 入力コネクタ

USB アップストリームポ - ト L371/L671x1

- ²本機は、スタンド部分を取り外してアーム(別のスタンド)を取り付けることができます。第8章 アーム取付方法を参照ください。
- 3盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売店の連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁掘1丁目5番2号 はごろもビル5F

Tel:03-3537-1070 Fax:03-3537-1071

第2章 接続手順

デジタル信号入力の場合は、オプションケーブルFD-C04を購入の上、 「2-3. デジタル信号入力の場合 (p.17)」を参照してください。

2-1. 接続の前に

今まで使用していたディスプレイを本機に置き換える場合、コンピュータと接続する前 に、画面設定(解像度^{p.47)}、周波数)を下記を参照し、必ず本機で表示できる設定に変 更しておいてください。

解像度	垂直周波数	備考	L371	L671
640 X 400	70 Hz	NEC PC-9821シリーズ	0	0
640 X 480	~85 Hz	VGA, VESA	0	0
720 X 400	70 Hz	VGA TEXT	0	0
800 X 600	~85 Hz	VESA	0	0
832 X 624	75 Hz	Apple Macintosh	0	0
1024 X 768	~75 Hz	VESA	0	
1024 X 768	~85 Hz	VESA		0
1152 X 870	75 Hz	Apple Macintosh		0
1152 X 900	∼76 Hz	SUN WS		0
1280 X 960	~85 Hz	Apple Macintosh		0
1280 X 1024	∼75 Hz	VESA		0

ディスプレイのプラグアンドプレイ機能について お使いのコンピュータがVESA DDCに対応したシステムの場合、本機をコンピュー 夕に接続するだけで特別な設定をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレー トの設定が可能になります。

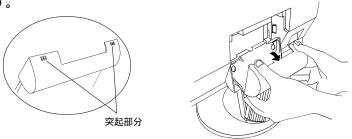
2-2 接続手順

注意点

ディスプレイとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。

1. ディスプレイ本体よりスタンドカバーを取り外します。

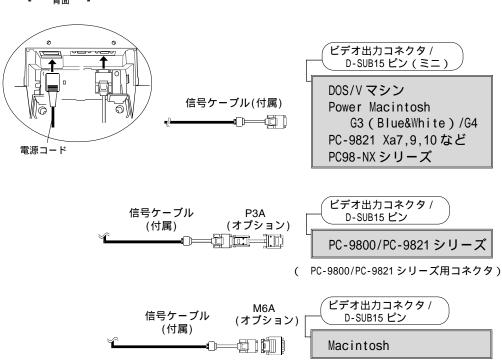
カバー上部の突起部分を押しながら、手前に引くようにしてスタンドカバーを外します。



2. 信号ケーブルを D-SUB 入力コネクタとコンピュータに接続します。

信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に 固定してください。





(Macintosh 用アダプタ)

3. 付属の電源コードを電源コネクタに接続します。

電源コードは必ず付属のものを使用する

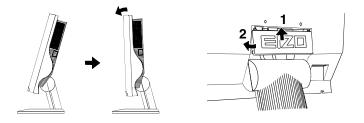
それ以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因と なります。



4. スタンドカバーおよびコネクタカバーを取り付けます。

カバー上部の突起を押しながら、スタンドカバーを閉じます。

パネルを水平にして、コネクタカバーを取り付けます。



5. 電源コードを電源コンセントに接続します。

電源コードのアースリードを接地する

安全および電磁界輻射低減のため、アースは必ず接続して ください。アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ 前におこなってください。外す場合は、先に電源プラグを 電源から抜いてください。順番を間違えると感電の原因と なります。



6. 主電源スイッチを入れます。

ディスプレイの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。 電源ランプが点灯(緑色)し、画面が表示されます。

電源スイッチを入れても画面が表示されない場合には、第9章 故障かなと思った ら(p.38)を参照してください。

使用後は、電源を切ってください。

2-3. デジタル信号入力の場合

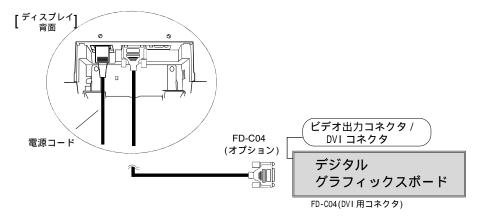
1. 表示可能解像度に設定します。

以下の解像度にのみ対応しています。

解像度	垂直周波数	備考	L371	L671
720 X 400	70 Hz	VGA TEXT	0	0
640 X 480	60 Hz	VGA	0	0
800 X 600	60 Hz	VESA	0	0
1024 X 768	60 Hz	VESA	0	0
1152 X 864	60 Hz	VESA		0
1280 X 960	60 Hz	VESA		0
1280 X 1024	60 Hz	VESA		0

2. 「2-2. 接続手順」を参照して接続してください。

ケーブルFD-C04はオプションです



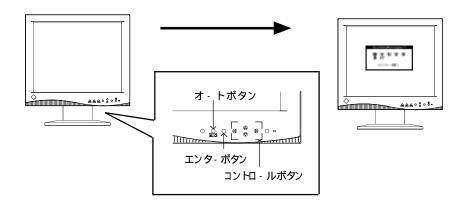
注意点

画面の表示位置がずれていたり、画面が欠けていたりする場合は、第5章を参照の 上、画像調整をおこなってください。

第3章 ScreenManager

3-1. 操作方法

ScreenManagerはディスプレイの調整に使用し、メインメニューとサブメニューがあり ます。調整はフロントパネル上のエンターボタンと、上・下・左・右のコントロールボタ ンにておこないます。



1. メニューの表示

フロントパネルのエンターボタンを押し、メインメニューを表示します。

<メインメニュ - >







2. 調整/設定

コントロールボタンで、調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押 して、選択した項目のサブメニューを表示します。

コントロ・ルボタンで、調整/設定したい項目を選択し、エンタ・ボタンを 押して、選択した項目の調整/設定メニュ・を表示します。

コントロ・ルボタンで調整/設定し、エンタ・ボタンを押して確定します。

3. 終了

サブメニューより〈リターン〉を選択し('下'のボタンを2回押すと移動 します。)、エンターボタンを押して、メインメニューに戻ります。 メインメニューより < メニューオフ > を選択し('下'のボタンを2回押す と移動します。)、エンターボタンを押して、ScreenManagerを終了しま す。



エンタ・ボタンをすばやく続けて2回押すと、どの調整画面からでもScreenManager を終了させることができます。

ScreenManager は表示中に何も操作をしないと、約45秒後に自動的に消え終了しま す。そのときの画面調整/設定状態は登録されません。

3-2. 機能一覧

ScreenManagerの調整、および設定項目一覧表です。 「D」マークはデジタル信号入力をおこなった場合です。

メインメニュ -	サブメニュ -		D	調整 / 設定内容
ピクチャ - 調整	コントラスト	√	L	
	ブライトネス	<u>√</u>	✓	
	クロック	√		
	フェ・ズ	√	L	
	ポジション	√	✓	
	_解像度	√	✓	 「第4章 画面調整/設定」
	スム・ジング	✓	✓	参照
カラ - 調整	カラ・モ・ド	√		
	ゲイン	√		デジタル信号入力の場合は
	セ-ブ	√	L	「第5章 調整/設定(デジタ
	リセット	✓		ル信号入力)」を参照
PowerManager	DVI DMPM		✓	
	VĒSĀ DPMS			
	EIZO MPMS	·		
その他	拡大モ・ド	√	✓	
		·	√	
	オラタイマ・	~	~~ -	タイマー(使用時間)を設定
		L		できます。(p.20参照)
	入力プライオリティ	✓	✓	優先的に表示される信号を選
		<u> </u>		択(p.35参照)できます。 _
	ビ・プ音	✓	✓	ビ・プ音を設定できます。
		ļ		(p.45参照)
	メニュ・ポジション	✓	✓	ScreenManager画面位置を移
		ļ		動できます。
	リセット	✓	✓	調整/設定状態をすべて初期設
				定に戻すことができます。(p.45
				参照)。カラ・調整(ゲイン)は
				除きます。(p.27 参照)
インフォメ・ション	インフォメ・ション	✓	✓	現在の設定状況が確認できま
	# 10 / 11 = = 1 =			す。
言語選択	英・ドイツ・フランス・	✓	✓	ScreenManager の言語が選択
	スペイン・イタリア・ スウェーデン・日本			できます。
	ヘンエ ノノ・山中			

3-3. 特殊機能

調整ロック機能

一度調整/設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

	(WCC) TO TEXX OF TWO CCTCC TIME THE CCTC
ロックされる機能	ScreenManagerによる調整 / 設定
	オートボタン
ロックされない機能	ショートカットキー機能によるコントラスト・ブライトネス調整
	入力切り替えボタン

設定方法

いったん電源を切ります。その後、オートボタンを押しながら電源を入れると、調整 ロックがかかり画面が表示されます。

解除方法

いったん電源を切ります。その後、オートボタンを押しながら再度電源を入れると、 調整ロックが解除され画面が表示されます。

タイマー機能

ディスプレイの使用時間を設定することにより、設定した時間が終了すると自動的に ディスプレイの電源がオフされます。ディスプレイに長時間同じ画像を表示させている と生じる残像現象p.46)を軽減させるための機能です。一日中同じ画面を表示させておく ような場合にご利用ください。

[設定方法]

ScreenManager < その他 > メニューより < オフタイマー > を選択します。 「有効」を選択した後、ディスプレイの使用時間 (1H ~ 23H) を設定します。

[オフタイマーの流れ]

タイマー	ディスプレイの状態	電源ランプ
設定時間(1H~23H)	オン	緑点灯
設定時間終了15分前	予告期間*¹ (ピピッと音がします。)	緑点滅
設定時間終了後	電源オフ	黄ゆっくり点滅

¹予告期間中にフロントパネルの電源ボタンを押すと、押した時点から90分延長する ことができます。延長は制限がなく何度でもできます。

[**復帰方法**]フロントパネルの電源ボタンを押します。

注意点

節電モード時でもオフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なし に電源がオフされます。

第4章 画面調整/設定

デジタル信号入力の場合は「第5章 画面調整/設定(デジタル信号入力)」を 参照してください。

4-1. 画像調整

液晶ディスプレイの画像の調整とは、使用するシステムに合わせ、画像のちらつきを抑えたり画面位置や画面サイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、ディスプレイを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定を変更した場合には、ScreenManagerを使用して画像を調整していただくことをおすすめします。付属のユーティリティディスクに画像調整用プログラムが含まれていますのでご利用ください。

調整手順

注意点

調整はディスプレイの電源を入れて、20分以上経過してからおこなってください。 (内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。)

1. フロントパネルのオートボタンを押します。

"もう一度オートボタンを押すとオートアジャストが実行されます"のメッセージが5秒間表示されます。メッセージが表示されている間にもう一度オートボタンを押すと、オートアジャスト機能が働き(動作中であることを示す画面が表示されます)、クロック、フェーズ、表示位置、解像度が調整されます。

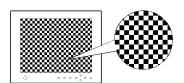
オートボタンで調整しきれない場合は以降の手順にしたがって調整を おこなってください。

2. 画面調整用 プログラムをインストールします。

「EIZO.LCDユーティリティディスク」(付属品)より、ご使用のシステムに対応した'画面調整用プログラム'をディスク内の readme ja. txt あるいは「お読みください」ファイルにしたがって、インストールし起動します。

参考

ご使用のシステムに対応したプログラムがない場合は、画面に 1 ドット抜きのパターン (下記参照)などを表示して以下の手順に進んでください。



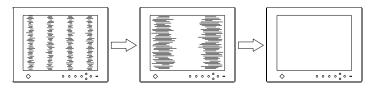
3. ScreenManager の < ピクチャー調整 > により調整します。

(1) 画面上に縦縞が出ている場合

○ クロック p.46)を調整します。

<クロック>を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して縦縞が消える ように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロー ルボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。

調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(2)フェーズ 調整」にすすみ調整をおこなってください。



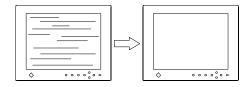
注意点

クロックを調整すると、水平の画面サイズも変化します。

(2) 画面全体がちらついたり、にじむようにみえる場合

○ フェーズ^{p.47)}を調整します。

<フェーズ>を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して最もちらつき やにじみのない画面に調整します。



注意点

お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくな らないものがあります。

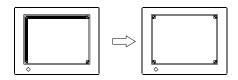
(3) 画面の表示位置がずれている場合

□ ポジションを調整します。

液晶ディスプレイは画素数および画素位置が固定であるため、正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画面を正しい位置に移動させるための調整です。

< ポジション > を選択し、画像の左上とマーカーが合うように上・下・左・右の コントロールボタンで調整します。

調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(1)クロック調整」に戻り、再度調整を おこなってください。(クロック フェーズ ポジション)



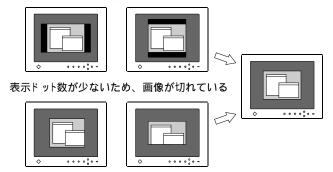
(4) 余分な画像が表示されていたり、画面が切れている場合

| 解像度を確認します。

入力信号の解像度と、解像度調整画面に表示されている解像度が異なる場合 に調整します。

<解像度>を選択し、調整画面に表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるように上・下のコントロールボタンで垂直方向の、左・右のコントロールボタンで水平方向の解像度を調整します。

表示ドット数が多いため、余分な画像が表示されている



4. コントラストの設定

コントラストを調整します。

入力信号のレベルを調整し、全ての色階調を表示できるように調整します。



全ての階調が表示される ように調整された状態



コントラストが 高すぎる (明るい色が白く 表示される)



コントラストが 低すぎる (明るい色も暗く 表示される)

< コントラスト・ブライトネス > を選択し、コントラスト・ブライトネス調整 画面を表示させます。

[自動調整]

調整画面を表示させた状態で、フロントパネルのオートボタンを押します。 コントラストが自動的に調整され、最大の色階調で画像を表示します。(調整 にしばらく時間がかかります。)

[手動調整]

左右のコントロールボタンでコントラストを調整し、調整画面の%表示が白 色から黄色に変わった点で調整を止めます。(%表示が安定しないで、白色に なったり黄色になったりしていても構いません。)

5. 明るさの設定

ブライトネスを調整します。

バックライトの明るさを調整し、 画面全体の明るさをお好みの状態に調整し ます。

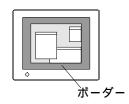
< コントラスト・ブライトネス > を選択し、 上・下のコントロールボタンで調 整します。

直接コントロールボタンを押しても、コントラスト・プライトネスの調整が できます。調整後はエンターボタンを押してください。

4-2. 低解像度の画面を表示した場合

画像の表示されない部分(ボーダー)の明るさを設定する場合
 ■ ボーダーにて設定します。

< その他 > メニューより < ボーダー > を選択し、左・右のコントロールボタンで調整します。

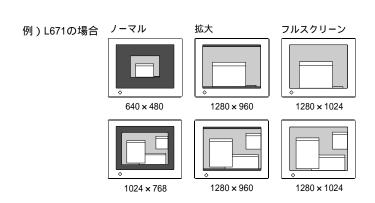


2. 拡大表示する場合

[€♣] 拡大モードで切換えます。

< その他 > メニューより < 拡大モード > を選択し、上・下のコントロールボタンでモード (拡大 / フルスクリーン)を選択します。

フルスクリーン:	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大 比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが 見られる場合があります。
拡大:	水平(横)方向いっぱいに画像を拡大し、その拡大 比率に合わせて垂直(縦)方向に画像を拡大します。 したがって、垂直方向に画像の表示されない部分が 残る場合があります。
ノーマル:	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。



3. 文字や線がぼやけてみえる場合

■ スムージング調整をします。

1~5段階(ソフト~シャープ)からお好みに応じて選択します。

< ピクチャー調整 > メニューより < スムージング > を選択し、左・右のコントロー ルボタンで調整します。

4-3. カラー調整

1. 背景の白色の色合いを変える。

■ カラーモードを選択します。

白い背景のアプリケーションを使用している場合などに、背景の白色の色合いを変えることができます。

<カラー調整>メニューより<カラーモード>を選択し、モード(1・2・3)を選択します。

カラーモード 1	液晶パネル本来の色、つまり調整していない液晶パネル
	本来の色です。全ての色階調を表示できます。
カラーモード 2	青みがかった白色です。全ての色階調を表示できません。
カラーモード3	赤みがかった白色です。全ての色階調を表示できません。

2. 赤・青・緑のそれぞれの色調を調整する。

(T) ゲインp.46) にて色調を調整します。

赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、色調を自分でつくります。

「調整方法]

背景が白またはグレーの画面を表示します。

<カラー調整>メニューより<ゲイン>を選択し、コントロールボタンで各色の値(%表示は調整値の目安です。)を調整します。調整は%表示が黒色で表示されている間でおこなってください。(紫色に変わると、適正な階調での色調整はできません。)

< セーブ > を選択し、調整値を記憶させます。

最後にコントラストを再調整し、ブライトネスで明るさを調整してください。

注意点

調整はディスプレイの電源を入れて、20分以上経過してからおこなってください。 (内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。)

<カラー調整>メニューの<リセット>を選択すると、選択されているカラーモードの色調は初期設定(工場出荷状態)に戻ります。

ディスプレイにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

4-4. 節電設定について

本機は「VESA DPMS^{p.47)}」に準拠し、さらにスクリーンセーバー(模様なし)など、ブ ランク(黒)の画面に連動する「EIZO MPMSp.46)」を採用しています。

コンピュータの節電機能「VESA DPMS」を使用する場合:

[設定方法]

コンピュータの節電機能を設定します。

< PowerManager > メニューより、 < VESA DPMS > を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの状態		コンピュータの状態 ディスプレイの状態		消費電力
オン		オペレーションモード	緑	L371:30W L671:50W
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	黄	5W以下

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

2. スクリーンセーバー(黒画面)に連動させる場合:

「設定方法)

コンピュータのスクリーンセーバーの「模様なし」や画面がブランク(黒) になるパターンを設定します。

< Power Manager > メニューより < EIZO MPMS > を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの状態	ディスプレイの状態	電源ランプ	消費電力
オン	オペレーションモード	緑	L371:30W L671:50W
・スクリーンセーバーが 働く ・省エネルギー設定が働く (Macintosh)	節電モード	黄	5W以下

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

注意点

Macintoshの「省エネルギー設定」をご使用の場合は<EIZO MPMS>を設定してく ださい。

完全な節電のためにはディスプレイの電源をオフすることをおすすめします。ま た、電源プラグを抜くことで、確実にディスプレイへの電源供給は停止します。 ディスプレイが節電モードに入っても、USB機器が接続されている場合、USB機器 は動作します。そのためディスプレイの消費電力は、節電モードであっても接続さ れる機器によって変化します。

第5章画面調整/設定(デジタル信号入力)

5-1. 画像調整

デジタル信号入力は本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。 表示位置がずれていたり、画面が切れていたりする場合は、ScreenManagerの < ピクチャー調整 > を使用して以下の調整をしてください。

注意点

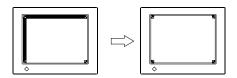
調整はディスプレイの電源を入れて、20分以上経過してからおこなってください。 (内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。)

1. 画面の表示位置がずれている場合

| ポジションを調整します。

液晶ディスプレイは画素数および画素位置が固定であるため、正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画面を正しい位置に移動させるための調整です。

< ポジション > を選択し、画像の左上とマーカーが合うように上・下・左・右のコントロールボタンで調整します。



2. 余分な画像が表示されていたり、 画面が切れている場合 解像度を確認します。

入力信号の解像度と、解像度調整画面に表示されている解像度が異なる場合に調整 します。

< 解像度 > を選択し、調整画面に表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるように上・下のコントロールボタンで垂直方向の、左・右のコントロールボタンで水平方向の解像度を調整します。

表示ドット数が多いため、余分な画像が表示されている



3. 明るさの設定

◯ ブライトネス調整をします。

バックライトの明るさを調整し、画面全体の明るさをお好みの状態に調整します。

ピクチャー調整メニューより < ブライトネス > を選択し、上・下のコントロールボ タンで調整します。

5-2. 低解像度の画面を表示した場合

「4-2. 低解像度の画面を表示した場合」を参照してください。

5-3. 節電設定について

本機はDVI DMPMP47)に準拠しています。

[設定方法]

コンピュータの節電機能を設定します。

< PowerManager > メニューより < DVI DMPM > を選択します。

「節電の流れ」 コンピュータの設定に連動し5秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態	ディスプレイの状態	電源ランプ	消費電力
オン	オペレーションモード	緑	L371:30W L671:50W
節電モード	節電モード	黄	5W以下
オフモード	節電モード*1	黄点滅(2回ずつ)	3W以下

1コンピュータ / オフモードはプライオリティ機能が<マニュアル>に設定され ている場合のみ有効です。

[復帰方法]

コンピュータ/節電モードからの復帰:キーボードまたはマウスを操作します。 コンピュータ/オフモードからの復帰:コンピュータの電源を入れます。

注意点

完全な節電のためにはディスプレイの電源をオフすることをおすすめします。ま た、電源プラグを抜くことで、確実にディスプレイ本体への電源供給は停止しま す。

USB 機器が接続されている場合、ディスプレイが節電モードに入っても USB 機器は 動作します。そのためディスプレイの節電消費電力は、接続される機器によって変 化します。

第6章 USB (Universal Serial Bus) の活用 - USB 対応のシステム環境の方に -

本機はUSB規格に対応しているハブを搭載しています。

USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブと して機能し、USBに対応している周辺機器を接続できます。

必要なシステム環境

USBポートを搭載したコンピュータ、 あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ Windows 98/2000 またはMac OS 8.5.1 以降 EIZO USB ケーブル(MD-C93)付属 (* 標準色 (グレー) キャビネット仕様のみ)

注意点

使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。 各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。

ディスプレイの主電源が入っていないと、ダウンストリームに接続している周辺機 器は動作しません。

ディスプレイが節電モードの状態に入っても、USBポート(アップストリームおよ びダウンストリーム)に接続されている機器は動作します。

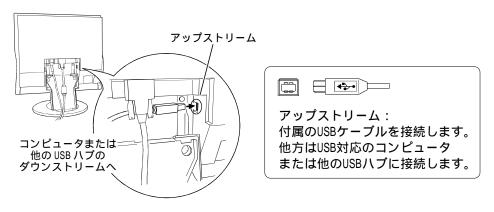
接続方法(USB機能のセットアップ方法)

注意点

USB 機能のセットアップが完了するまで、ディスプレイのダウンストリームに周辺 機器を接続しないでください。

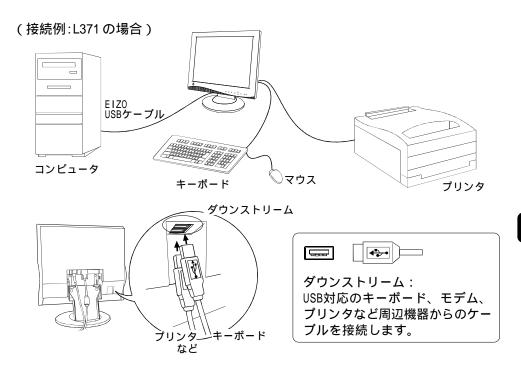
以下はWindows 98 Second Edition/2000およびMac OSの場合の手順になります。

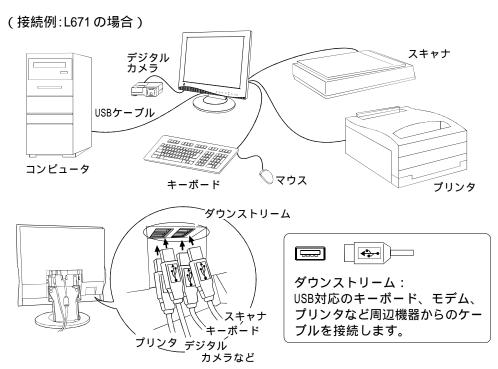
- $oldsymbol{1}$ 。 はじめにコンピュータとディスプレイを信号ケーブルで接続し($\mathsf{p.14}$ 参照), コン ピュータを起動しておきます。
- $oldsymbol{2}$.USB対応のコンピュータ(あるいは他のUSBハブ)のダウンストリームとディスプ レイのアップストリームをUSBケーブルで接続します。



USB ケーブルの接続より自動的に USB 機能がセットアップされます。

3. セットアップが完了すると、ディスプレイが USB ハブとして機能し、さまざまな USB 対応の周辺機器をディスプレイの USB ポート(ダウンストリーム)に接続する ことができます。



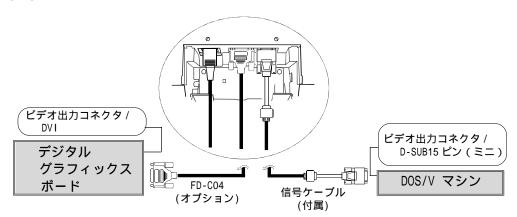


第7章 2台のコンピュータをつなぐ

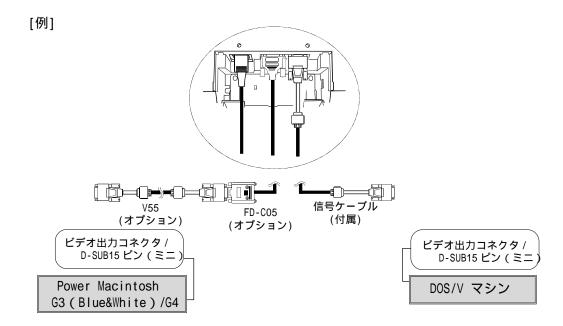
本機は、背面のシグナル1、シグナル2コネクタに2台のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

DVI-I (シグナル1) × D-SUB (シグナル2)2系統の場合

[例]

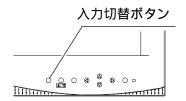


D-SUB (シグナル1) × D-SUB (シグナル2)2系統の場合



入力信号の切り替え方法

入力切替ボタンで切り替えます。押すたびに信号が切り替わります。



優先的に表示される信号を設定する

2台のコンピュ - タを接続した時、どちらか一方のコンピュ - タを優先的に表示させることができます。ディスプレイは定期的に入力信号を確認し、<入力プライオリティ>設定で優先のおかれている信号が入力されてきた場合、そちらの信号に自動で切り替わります。

コンピュ - タが1台しか接続されていない場合は、優先信号がシグナル1またはシグナル2のどちらに設定されていても、信号は自動検知されます。

優先設定	機能		
シグナル1	コンピュ - 夕が2台接続されている場合は、以下の場合に優先入力		
	設定が機能します。		
	ディスプレイの電源を入れたとき。		
	入力信号がシグナル2であっても、シグナル1の信号が新たに		
	入力されてきた場合。		
シグナル 2	コンピュ - 夕が2台接続されている場合は、以下の場合に優先入力		
	設定が機能します。		
	ディスプレイの電源を入れたとき。		
	入力信号がシグナル1であっても、シグナル2の信号が新たに		
	入力されてきた場合。		
マニュアル	コンピュ - 夕の信号を自動検知しません。		
	表示させたいコンピュ - 夕の信号が接続されているコネクタを		
	フロントパネルの入力切替ボタンで選択してください。		

参考

節電機能に関して

シグナル1またはシグナル2が選択されている場合は、2台のコンピュ-タの両方が 節電モ-ドに入っている場合のみディスプレイの節電機能が動作します。

第8章アーム取付方法

本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム(あるいは別のスタンド)に取り 付けることが可能になります。

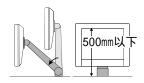
注意点

本機に取り付けるアーム(またはスタンド)は、以下の点に注意してお選びください。 VESA 規格に適合しているもの 【VESA 規格内容】

	L371	L671
取り付ける部分 のネジ穴間隔	75 X 75 mm ネジ穴 *** 75mm ** M4×12mm (4箇所) 75mm	100 X 100 mm ネジ穴 M4×12mm (4箇所) 100mm
耐重	8.0kgまでの重さに耐えら れること	13.5kgまでの重さに耐え られること

ディスプレイを取り付けても外れたり、倒れたりしな いもの

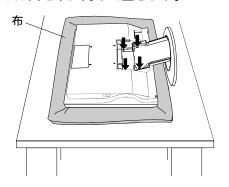
手で動かした位置に留まるもの 前後に動かすことができるもの ディスプレイを取り付けて、一番低い位置に固定した とき、ディスプレイの画面最上部からアーム(または スタンド)の取り付け位置までが500mm 以下である



ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。

取付方法

1. 液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。



- **2.** スタンド部分を取り外します。(別途ドライバーを準備ください。) ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ(4 x 10 S-Type Ni/Fe: 4箇所)を取り外します。
- **3.** ディスプレイをアーム (またはスタンド) に取り付けます。

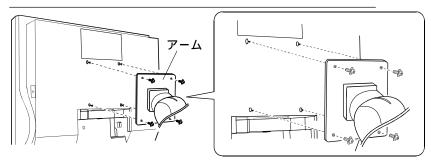
⚠警告

確実に設置する

アーム(またはスタンド)の取扱説明書も併せて参照の上、確実に取り付けてください。また、ネジは必ず本機に付属しているものを使用し、最後までしっかりと回してください。取り付けが不十分な場合、外れて落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。



なお、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には、必ず 使用されていた元のネジ(4 × 10 S-type Ni/Fe)を使用し てください。



取り付け用ネジ

(付属): M4 × 12mm

第9章故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポート にご相談ください。

画面が表示されない場合 項目1、2を参照してください。 画面に関する症状 項目3~12を参照してください。 USB に関する症状 項目 18~19を参照してください。 その他の症状 項目 13~17を参照してください。

症状	チェックポイント/ 対処方法
1. 画面が表示されない 電源ランプが点灯しない	電源コードが正しく差し込まれていますか。 電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れ てみてください。
	コントラストおよびブライトネスの設定を確認して みてください。
<黄色>	マウス、キーボードを操作してみてください。 (p.28参照)
< 黄色 (ゆっくり点滅) >	電源ボタンを押してみてください。

2. 以下のような画面が表示され

(この表示は約40秒間表示され ます。)

> 信号が入力されていない場 合の表示です。



この表示はディスプレイが正常に機能していても、信 号が正しく入力されないときに表示されます。

コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに 出力されないため、左のような画面が表示されるこ とがあります。

コンピュータの電源は入っていますか。 信号ケーブルが正しく接続されていますか。 入力切替ボタンで入力信号を切り替えてみてくださ

入力されている信号が周波 数仕様範囲外であることを 示す表示です。(範囲外の信 号は赤色で表示されます。)

人力は号エラー シグナル2 fH: 110.0kHz 75.0Hz

グラフィックスボードのユーティリティなどで、適 切な表示モードに変更してください。詳しくはグラ フィックスボードの取扱説明書を参照してくださ ll.

症	状	チェックポイント/ 対処方法
3. 画像の位置が	適正でない	<ポジション>調整にて画像の左上を画面上のマーカーに合わせてください。(p.23参照) ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
4. 画像の一部が 余分な画像が	· · =	<解像度>で入力信号の解像度と解像度調整画面の 解像度が合うように調整してください。 (p.23参照)
5. 画面に縦線が 画面の一部が (seminal polymologic po	出ている / ちらついている	< クロック調整 > で調整してみてください。 (p.22 参照)
6. 画面全体がち うに見える	らつく、にじむよ	< フェーズ調整 > で調整してみてください。 (p.22 参照)
7. 文字がぼやけ	て見える	< スムージング > で調整してみてください。 (p.26 参照)
8. 表示された画 のように <u>歪</u> む		コンポジットシンク(X-OR)の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。
9. 画面が明るす	ぎる / 暗すぎる	< コントラスト・ブライトネス > を調整してください。(LCDディスプレイのバックライトには、寿命があります。 画面が暗くなったり、 ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。)
10. 残像が現れる	3	長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えた時に前の画面の残像が現れることがあります。これは液晶の特性によるもので、別の画面が表示されてしばらく経過すると解消されます。 長時間同じ画面を表示するようなときには、タイマー機能の活用をおすすめします。(p.20参照)

症状	チェックポイント/ 対処方法
11. 画面に緑、赤、青、白のドットが 残るまたは点灯しないドット が残る	これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であ り、故障ではありません。
12. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	表示されている画面を白い画面に変更してみてく ださい。症状が解消されることがあります。
13.ScreenManager において、<ピ クチャー調整>の<スムージ ング>アイコンが選択できな い	
14.Macintosh をご使用の場合 「EIZO LCD ユーティリティ ディスク」が読み込めない	ディスクを読み込むにはシステムに'PC Exchange'あるいは'File Exchange'がインストールされていることが必要です。ディスクが読み込めず、「画面調整用プログラム」が利用できない場合でも、1ドット抜きのパターンを表示することで対応できます。(p.21参照)
15.ScreenManagerが起動できない	調整ロックが機能していないか確認してみてくだ さい。(p.20参照)
16. オートボタンが正しく動作しない	この機能はMacintoshやWindowsなど表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。 DOSプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

症状	チェックポイント/対処方法
17.Windows 95/98/2000 において、 ユーティリティディスクをイン ストールしても周波数が変わら ない。	グラフィックスボードのユーティリティソフト を使用して入力信号周波数を変えてみてくださ い。
18.USB 機能のセットアップができ ない。	USBケーブルが正しく差し込まれていますか。 ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応し ているかご確認ください。 (各機器のUSB対応については各メーカーにお 問い合わせください。) Windows 98をご使用の場合、コンピュータに搭 載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認 ください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書 を参照してください。)
19. コンピュータが動作しない/接続した周辺機器が動作しない。	USBケーブルが正しく差し込まれていますか。別のUSBポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください。次の動作を試してみてください。・コンピュータを再起動してみる・直接コンピュータと周辺機器を接続してみるディスプレイ(USBハブ)に接続しない状態で各機器が正常に動作する場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。Apple USBキーボードを本機のUSBポートに接続した場合、キーボード上の電源ボタンを機能させるには直接コンピュータ本体と接続してください。詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。

第 10 章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

⚠警告

ディスプレイの周辺に液体を置かない

本体内部に液体が入ると火災や感電、故障の原因となります。 万一、本体内部に液体をこぼしたり、異物を落としてしまった 場合にはすぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。点検、修理の必要があります。



△注意

クリーニングの際は電源プラグも抜く

プラグを差したままで、クリーニングをおこなうと感電の原因となることがあります。



クリーニングの際には溶剤や薬品を使用しない

溶剤や薬品(シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど)は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となることがあります。



ッ。 企制的に掃除する

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。(使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。)

液晶パネル面

汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。

落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

参考

パネル面のクリーニングにはScreenCleaner(オプション品)をご利用いただくことをおすすめします。

第11章 仕様

L371

	38cm (15.0)型カラー TFT、乱反射ハードコーティング			
液晶パネル	視野角:上下 120°、左右 140°			
ドットピッチ				
	0.297mm			
水平走査周波数	27kHz ~ 61kHz (自動追従)			
垂直走査周波数	50Hz ~ 85Hz			
	(1024 × 768 モ - ド時は 50Hz ~ 75Hz)(自動追従)			
5-15-1	デジタル信号入力時 60Hz (VGA TEXT 時 70Hz)			
解像度	1024 ドット× 768 ライン			
ドットクロック	80MHz			
最大表示色	1677 万色			
表示サイズ(水平×垂直)	304mm × 228mm			
電源	AC100-120V/220-240V ± 10%、50/60Hz、0.8A/0.5A			
 消費電力	通常:30W 、最大 45W			
//1.貝电/]	(オプションスピ - カ - および USB 使用時)			
	節電モード:5₩以下(USB機器未接続時)			
信号入力コネクタ	D-SUB15 (ミニ) コネクタ、DVI-I コネクタ			
	a)セパレート、TTL、正 / 負極性			
入力同期信号 信号形式	b)コンポジット、TTL、正 / 負極性			
	c)シンクオングリーン、0.3Vp-p、負極性			
入力信号 伝送方式	TMDS (Single Link)			
(デジタル信号入力)	-			
ビデオ信号メモリー	28 種 (プリセット 16 種)			
	デジタル信号入力5種(プリセット0種)			
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 2B			
寸法(本体)	397mm(幅)×397mm(高さ)×193mm(奥行き)			
重量(本体)	5.7kg (スタンドを取り外したとき:4.3kg)			
	動作温度範囲:0 ~ 35 、			
環境条件	輸送および保存温度範囲:-20 ~ 60 、			
	相対湿度範囲:30%~80% R.H.(非結露状態)			
適合規格	TCO'99 、VCCI クラス B、TÜV Rheinland/S マーク			
	TÜV/Rheinland Ergonomics Approved			
USB 関連	USB 規格: USB 規格 Rev.1.1 準拠			
10100	通信速度: 12Mbps(フルスピード) 1.5Mbps(ロースピード)			
	ダウンストリーム供給電流:最大500mA/1ポート			
	USB ポート:アップストリーム×1			
	ダウンストリーム×2			
))) \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			

(TCO '99:標準色 (グレー) キャビネット仕様のみ適合)

L671

	46cm (18.1) 型カラー TFT、乱反射ハードコーティング
液晶パネル	視野角:上下 170°、左右 170°
ドットピッチ	0.28mm
水平走査周波数	27kHz ~ 82kHz (自動追従)
垂直走查周波数	50Hz ~ 85Hz
	(1280 x 1024 モ - ド時は50Hz ~ 75Hz)(自動追従)
	デジタル信号入力 60Hz (VGA TEXT 時 70Hz)
解像度	1280 ドット× 1024 ライン
ドットクロック(最大)	135MHz
	デジタル信号入力時 108MHz
最大表示色	1677 万色
表示サイズ(水平×垂直)	359mm × 287mm
電源	AC100-120V/220-240V ± 10%、50/60Hz、0.7A/0.4A
当弗雷力	通常:50W、最大:72W
消費電力	(オプションスピ - カ - および USB 使用時)
	節電モード:5W以下(USB機器未接続時)
信号入力コネクタ	D-SUB15(ミニ)コネクタ、DVI-Iコネクタ
	a)セパレート、TTL、正 / 負極性
入力同期信号 信号形式	b)コンポジット、TTL、正 / 負極性
	c)シンクオングリーン、0.3Vp-p、負極性
入力信号 伝送方式	TMDS (Single Link)
(デジタル信号入力)	
入力映像信号 信号形式	アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75)
ビデオ信号メモリー	28 種 (プリセット23 種)
	デジタル信号入力時5種 (プリセット0種)
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 2B
寸法(本体)	430mm(幅)× 455mm(高さ)× 218mm(奥行き)
重量(本体)	9.0kg(スタンドを取り外したとき:7.2kg)
	動作温度範囲:0~35、
環境条件	輸送および保存温度範囲:-20 ~60 、
	相対湿度範囲:30% ~ 80% R.H. (非結露状態)
適合規格	TCO'99 、VCCI クラスB、TUV Rheinland/Sマーク、
	TÜV/Rheinland Ergonomics Approved
USB 関連	USB 規格:USB 規格 Rev.1.1 準拠
	通信速度:12Mbps(フルスピード)1.5Mbps(ロースピード)
	ダウンストリーム供給電流:最大 500mA/1 ポート
	USB ポート : アップストリーム × 1
I	ダウンストリーム×4

主な初期設定(工場出荷設定)値

・コントラスト	80%
・ブライトネス	100%
・スムージング	3
・カラー調整	モード1
 PowerManager 	VESA DPMS
・拡大モード	ノーマル
・入力プライオリティ	シグナル1
・オフタイマー	無効
・ビープ音	オン
・言語選択	日本語

デジタル信号入力時

・ブライトネス	100%
・スムージング	3
 PowerManager 	DVI DMPM
・拡大モード	ノーマル
・入力プライオリティ	シグナル1
・オフタイマー	無効
・ビープ音	オン
・言語選択	日本語

ビープ音設定

ピッという音	・エンターボタンで項目を選択した場合
	・コントロールボタンで設定値を最大または最小にした場合
	・フロントパネルの入力切り替えボタンを押した場合
ピーという音	・フロントパネルのオートボタンを押した場合
	・エンターボタンで登録をおこなった場合
ピッピッピッピッ	・ディスプレイの接続が正しくおこなわれていない場合
という音	・コンピュータの電源が入っていない場合
	・仕様範囲外の周波数を受信している場合
15秒に1度	・オフタイマーで設定した電源オフ時間終了 15 分前 (予告期間)
ピッピッという音	

第 12 章 用語集

残像現象

同じ画面を長時間表示することによって、画面表示を変えたときに前の画面が残像 として見えてしまう現象です。これは液晶の特性によるもので、別の画面が表示さ れてしばらく経過すると解消されます。

クロック

アナログ入力方式のディスプレイにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変 換して画像を表示する際に、使用しているグラフィクスシステムのドットクロック と同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整する ことをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れ ます。

DVI

(Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つ。コンピュータ内部のデジタルデータを損失 なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ 対応のDVI-Dコネクタと、 デジタル / アナログ入力可能なDVI-I コネクタがありま す。

DVI-DMPM

(DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの節電機能のこと。モニターのパワー状態については Monitor ON(オペレーションモード)とActive Off(節電モード)が必須となっ ています。)

EIZO MPMS

(EIZO Monitor PowerManager Signaling)

当社が採用している節電機能のことです。コンピュータからのビデオ信号を判別す ることによって、ディスプレイの消費電力を抑えるしくみになっています。

ゲイン調整

赤、緑、青のそれぞれの色の値を調整するものです。液晶ディスプレイではパネル のカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色で あり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。 3色のフィルターに通す光の強さ(量)をそれぞれ調整することによって、色調を 変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングのタイミングのこ と。このタイミングを調整することをフェーズ調整といい、クロックを正しく調整 した後でフェーズ調整を行うことでクリアな画像が得られます。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表 示させています。L371の場合は横1024個、縦768個、L671の場合には横1280個、 縦1024個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1024×768(L371)/ 1280 × 1024 (L671)の解像度であれば、画像は画面いっぱいに表示されますが、 640×480や800×600などの低解像度の画像は画面の中央に小さく表示されます。

TMDS

(Transition Minimized Differential Signaling) デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つ。

VESA DPMS

(Video Electronics Standard Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用ディスプレイの省エネ化を実現させるため、コン ピュータ (グラフィックスボード)側からの信号の標準化をおこなっています。 DPMSはコンピュータとディスプレイ間の信号の状態について定義しています。

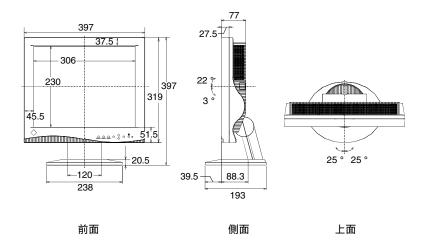
第13章さくいん

A~Z あ~お	DVI 10,46 DVI DMPM 19,31,46 EIZO LCD ユーティリティディスク 11,21 EIZO MPMS 19,28,46 PowerManager 19,28,31 ScreenManager 18 TMDS 10,47 USB 28,32,43,44 VESA DPMS 19,28,47	さ~ ਟ	残像 20,46 仕様 43 使用上の注意 4 消費電力 28,31,43,44 初期設定値(工場出荷設定) 45 スムージング 19,26 セーブ 18,19,27 接続手順 15 接続の前に 14 節電設定 28,31 操作方法 18 その他 19
	アーム取付方法	た~と	調整ロック機能
か~こ	外観寸法	な~の は~ほ	入力信号接続
	故障かなと思ったら 38 コントラスト 19,24 梱包品の確認 11	ま~も	メニューポジション 19
		や~よ	用語集46
		5 ~ 3	リセット19

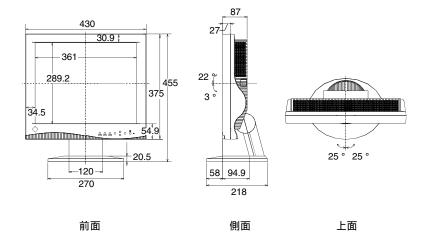
第14章 付録

外観寸法 L371

単位:mm



L671

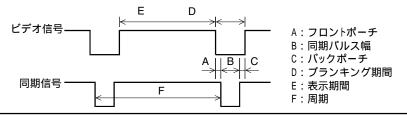


プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです。

表示モード	ドット		極性	周波数	A: フロントポーチ
夜小モート	クロック		/型1土	水平:kHz,垂直:Hz	
VGA*	, , , ,	水平	負	31.468	0.636 / 16
640 x 480	25.175 MHz	垂直	負	59.941	0.318 / 10
VGA*		水平	負	31.468	0.636 / 18
720 x 400	28.322 MHz	垂直	Ē	70.087	0.381 / 12
Macintosh*		水平	負	35.00	2.116 / 64
640 x 480	30.24 MHz	垂直	負	66.67	0.086 / 3
Macintosh*		水平	負	49.73	0.559 / 32
832 x 624	57.28 MHz	垂首	負	74.55	0.020 / 1
		水平	負	68.68	0.320 / 32
Macintosh 1152 x 870	100.0 MHz	垂首	負	75.06	0.044 / 3
		水平		74.763	0.190 / 24
Macintosh 1280 x 960	126.2 MHz	垂直	負	74.763	0.013 / 1
PC-9821*		水平	負	31.50	0.635 / 16
640 x 400	25.197 MHz	垂直	負	70.15	0.413 / 13
VFSA*		水平	負	37.86	0.508 / 24
640 x 480	31.5 MHz	垂直	負	72.81	0.026 / 9
		水平		37.5	0.508 / 16
VESA* 640 x 480	31.5 MHz	垂直	負	75.00	0.027 / 1
VESA*		水平	負	43.27	1.556 / 56
640 x 480	36.0 MHz	垂直	負	85.01	0.023 / 1
		水平	正	35.16	0.667 / 24
VESA* 800 x 600	36.0 MHz	垂直	ш. IE	56.25	0.007 / 24
		水平	正	37.88	1.000 / 40
VESA* 800 x 600	40.0 MHz	垂首	正	60.32	0.026 / 1
VESA*		水平	正	48.08	1.120 / 56
800 x 600	50.0 MHz	垂直	正	72.19	0.770 / 37
VFSA*		水平	IE IE	46.88	0.323 / 16
800 x 600	49.5 MHz	垂直	正	75.00	0.021 / 1
		水平	ш IE	53.674	0.569 / 32
VESA* 800 x 600	56.25 MHz	垂直	正	85.061	0.019 / 1
		水平	正	48.36	0.369 / 24
VESA* 1024 x 768	65.0 MHz	垂直	IE IE		
		业量 水平	正	60.00 56.48	0.062 / 3 0.320 / 24
VESA* 1024 x 768	75.0 MHz	垂直	正	70.07	0.320 / 24
		工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	正	60.02	0.053 / 3
VESA* 1024 x 768	78.75 MHz	垂首	正	75.03	0.203 / 16
		工工 水平	正	75.03 68.68	0.508 / 48
VESA 1024 x 768	94.5 MHz	サイド ボール ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	正		
	, <u>-</u>	工工		85.0 63.98	0.015 / 1 0.444 / 48
VESA 1280 x 1024	108.0 MHz		<u></u>		
		垂直	<u></u>	60.02	0.016 / 1
VESA 1280 x 1024	135.0 MHz	水平 垂古	正	79.97	0.119 / 16
		垂直 水平	正	75.02 61.974	0.013 / 1 0.425 / 40
WS	94.200 MHz		コンポジット		
1152 x 900	5 <u>250 Mil IZ</u>	垂直	シンク、負	66.141	0.032 / 2
WS	107.50 MHz	水平	コンポジット	71.858	0.223 / 24
1152 x 900		垂直	シンク、負	76.202	0.028 / 2

*L371プリセットタイミング



+= += 1° + = +=	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	5	- = - #1100	F 🖂 #11
B: 同期ハルス幅		D:ブランキング期間		F: 同期
3.813 / 96	<u>水平:</u> 1.907 / 48	u <u>s / ドット,垂直:ms /</u> 6.356 / 160	<u>ライン</u> 25.442 / 640	31.778 / 800
0.054 / 2	1.048 / 33	1.430 / 45	15.254 / 480	16.683 / 525
3.813 / 108	1.907 / 54	6.356 / 180	25.422 / 720	31.778 / 900
0.064 / 2	1.111 / 35	1.556 / 49	12.712 / 400	14.268 / 449
2.116 / 64	3.175 / 96	7.407 / 224	21.164 / 640	28.571 / 864
0.086 / 3	1.114 / 39	1.286 / 45	13.714 / 480	15.000 / 525
1.117 / 64	3.911 / 224	5.586 / 320	14.524 / 832	20.111 / 1152
0.060 / 3	0.784 / 39	0.865 / 43	12.549 / 624	13.414 / 667
1.280 / 128	1.440 / 144	3.040 / 304	11.520 / 1152	14.560 / 1456
0.044 / 3	0.568 / 39	0.655 / 45	12.667 / 870	13.322 / 915
1.204 / 152	1.838 / 232	3.233 / 408	10.143 / 1280	13.376 / 1688
0.040 / 3	0.482 / 36	0.535 / 400	12.841 / 960	13.376 / 1000
2.540 / 64	3.175 / 80	6.350 / 160	25.400 / 640	31.750 / 800
0.063 / 2	1.079 / 34	1.556 / 49	12.700 / 400	14.256 / 449
1.270 / 40	3.810 / 128	5.587 / 192	20.317 / 640	26.413 / 832
0.079 / 3	0.528 / 28	0.634 / 40	12.678 / 480	13.735 / 520
2.032 / 64	3.810 / 120	6.349 / 200	20.317 / 640	26.667 / 840
0.080 / 3	0.427 / 16	0.533 / 20	12.800 / 480	13.333 / 500
1.556 / 56	2.222 / 80	5.333 / 192	17.778 / 640	23.111 / 832
0.069 / 3	0.578 / 25	0.670 / 29	11.093 / 480	11.764 / 509
2.000 / 72	3.556 / 128	6.222 / 224	22.222 / 800	28.444 / 1024
0.057 / 2	0.626 / 22	0.711 / 25	17.067 / 600	17.778 / 625
3.200 / 128	2.200 / 88	6.400 / 256	20.000 / 800	26.400 / 1056
0.106 / 4	0.607 / 23	0.739 / 28	15.840 / 600	16.579 / 628
2.400 / 120	1.280 / 64	4.800 / 240	16.000 / 800	20.800 / 1040
0.125 / 6	0.478 / 23	1.373 / 66	12.480 / 600	13.853 / 666
1.616 / 80	3.232 / 160	5.172 / 256	16.162 / 800	21.333 / 1056
0.064 / 3	0.448 / 21	0.533 / 25	12.800 / 600	13.333 / 625
1.138 / 64	2.702 / 152	4.409 / 248	14.222 / 800	18.631 / 1048
0.056 / 3	0.503 / 27	0.578 / 31	11.179 / 600	11.756 / 631
2.092 / 136	2.462 / 160	4.923 / 320	15.754 / 1024	20.677 / 1344
0.124 / 6	0.600 / 29	0.786 / 38	15.880 / 768	16.666 / 806
1.813 / 136	19.20 / 144	4.053 / 304	13.653 / 1024	17.707 / 1328
0.106 / 6	0.513 / 29	0.673 / 38	16.599 / 768	14.272 / 806
1.219 / 96	2.235 / 176	3.657 / 288	13.003 / 1024	16.660 / 1312
0.050 / 3	0.466 / 28	0.533 / 32	12.795 / 768	13.328 / 800
1.016 / 96	2.201 / 208	3.825 / 352	10.836 / 1024	14.561 / 1376
0.044 / 3	0.524 / 36	0.582 / 40	11.183 / 768	11.765 / 808
1.037 / 112	2.296 / 248	3.778 / 408	11.852 / 1280	15.630 / 1688
1.037 / 3	0.594 / 38	0.656 / 42	16.005 / 1024	16.661 / 1066
1.067 / 144	1.837 / 248	3.022 / 408	9.481 / 1280	12.504 / 1688
0.038 / 3	0.485 / 38	0.525 / 42	12.804 / 1024	13.329 / 1066
1.359 / 128	2.123 / 200	3.907 / 368	12.229 / 1152	16.136 / 1520
0.065 / 4	0.500 / 31	0.597 / 37	14.522 / 900	15.119 / 937
1.265 / 136	1.712 / 184	3.200 / 344	10.716 / 1152	13.916 / 1496
0.111 / 8	0.459 / 33	0.598 / 43	12.525 / 900	13.123 / 943

注意点

接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、ScreenManagerで画面の調整 が必要になる場合があります。

上記以外の信号を入力した場合は、ScreenManagerで画面の調整をおこなってください。 ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。

インターレースの信号は、ScreenManagerで調整をおこなっても画面を正しく表示する ことができません。

入力信号接続

D-SUB15 (ミニ) コネクタ

D-SUB15(ミニ)コネクタには下表の信号が入力されます。



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	赤	6	赤グランド	11	(10ピンとショート)
2	緑または緑 + コンポジットシンク	7	緑グランド	12	データ (SDA)
3	青	8	青グランド	13	水平同期または 水平/垂直 コンポジットシンク
4	グランド	9	/	14	垂直同期
5	/	10	グランド	15	クロック(SCL)

DVI-Iコネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data2-	11	TMDS Data1/3 Shield	21	NC
2	TMDS Data2+	12	NC	22	TMDS Clock Shield
3	TMDS Data2/4 Shield	13	NC	23	TMDS Clock+
4	NC	14	+5V Power	24	TMDS Clock-
5	NC	15	Ground(return for+5V,Hsync and Vsync)	C1	Analog Red
6	DDC Clock(SCL)	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green
7	DDC Data(SDA)	17	TMDS Data0-	С3	Analog Blue
8	Analog Vertical Sync	18	TMDS DataO+	C4	Analog Horizontal Sync
9	TMDS Data1-	19	TMDS Data0/5 Shield	C5	Analog Ground (analog R,G,&B return)
10	TMDS Data1+	20	NC		

NC: No Connect on

USB ポート (USB Revision1.1による)





シリーズB シリーズA コネクタ コネクタ

接点番号	信号名	備考
1	VCC	ケーブル電源
2	- Data	シリアルデータ
3	+ Data	シリアルデータ
4	Ground	ケーブルグランド



Congratulations! You have just purchased a TCO'99 approved and labelled product! Your choice has provided you with a product developed for professional use. Your purchase has also contributed to reducing the burden on the environment and also to the further development of environmentally adapted electronics products.

Why do we have environmentally labelled computers?

In many countries, environmental labelling has become an established method for encouraging the adaptation of goods and services to the environment. The main problem, as far as computers and other electronics equipment are concerned, is that environmentally harmful substances are used both in the products and during their manufacture. Since it is not so far possible to satisfactorily recycle the majority of electronics equipment, most of these potentially damaging substances sooner or later enter nature.

There are also other characteristics of a computer, such as energy consumption levels, that are important from the viewpoints of both the work (internal) and natural (external) environments. Since all methods of electricity generation have a negative effect on the environment (e.g. acidic and climate-influencing emissions, radioactive waste), it is vital to save energy. Electronics equipment in offices is often left running continuously and thereby consumes a lot of energy.

What does labelling involve?

This product meets the requirements for the TCO'99 scheme which provides for international and environmental labelling of personal computers. The labelling scheme was developed as a joint effort by the TCO (The Swedish Confederation of Professional Employees), Svenska Naturskyddsforeningen (The Swedish Society for Nature Conservation) and Statens Energimyndighet (The Swedish National Energy Administration).

Approval requirements cover a wide range of issues: environment, ergonomics, usability, emission of electric and

magnetic fields, energy consumption and electrical and fire safety.

The environmental demands impose restrictions on the presence and use of heavy metals, brominated and chlorinated flame retardants, CFCs (freons) and chlorinated solvents, among other things. The product must be prepared for recycling and the manufacturer is obliged to have an environmental policy which must be adhered to in each country where the company implements its operational policy.

The energy requirements include a demand that the computer and/or display, after a certain period of inactivity, shall reduce its power consumption to a lower level in one or more stages. The length of time to reactivate the

computer shall be reasonable for the user.

Labelled products must meet strict environmental demands, for example, in respect of the reduction of electric and magnetic fields, physical and visual ergonomics and good usability.

You will find a brief summary of the environmental requirements met by this product on the right. The complete environmental criteria document may be ordered from:

▶TCO Development

SE-114 94 Stockholm, Sweden
Fax: +46 8 782 92 07, Email (Internet): development@tco.se
Current information regarding TCO'99 approved and labelled products may also be obtained via the Internet, using the address: http://www.tco-info.com/

Environmental Requirements

Flame retardants

Flame retardants are present in printed circuit boards, cables, wires, casings and housings. Their purpose is to prevent, or at least to delay the spread of fire. Up to 30% of the plastic in a computer casing can consist of flame retardant substances. Most flame retardants contain bromine or chloride, and those flame retardants are chemically related to another group of environmental toxins, PCBs. Both the flame retardants containing bromine or chloride and the PCBs are suspected of giving rise to severe health effects, including reproductive damage in fisheating birds and mammals, due to the bio-accumulative* processes. Flame retardants have been found in human blood and researchers fear that disturbances in foetus development may occur.

▶ The relevant TCO'99 demand requires that plastic components weighing more than 25 grams must not contain flame retardants with organically bound bromine or chlorine. Flame retardants are allowed in the printed

circuit boards since no substitutes are available.

Cadmium**

Cadmium is present in rechargeable batteries and in the colour-generating layers of certain computer displays. Cadmium damages the nervous system and is toxic in high doses.

▶The relevant TCO'99 requirement states that batteries, the colour-generating layers of display screens and the electrical or electronics components must not contain any cadmium.

Mercury is sometimes found in batteries, relays and switches. It damages the nervous system and is toxic in high

▶The relevant TCO'99 requirement states that batteries may not contain any mercury. It also demands that mercury is not present in any of the electrical or electronics components associated with the labelled unit.

CFCs (freons)

▶The relevant TCO'99 requirement states that neither CFCs nor HCFCs may be used during the manufacture and assembly of the product. CFCs (freons) are sometimes used for washing printed circuit boards. CFCs break down ozone and thereby damage the ozone layer in the stratosphere, causing increased reception on earth of ultraviolet light with e.g. increased risks of skin cancer (malignant melanoma) as a consequence.

Lead can be found in picture tubes, display screens, solders and capacitors. Lead damages the nervous system and in higher doses, causes lead poisoning.

The relevant TCO'99 requirement permits the inclusion of lead since no replacement has yet been developed.

* Bio-accumulative is defined as substances which accumulate within living organisms.

** Lead, Cadmium and Mercury are haevy metals which are Bio-accumulative.



このたびTCO'99認証製品をお買い求めいただきました皆様はきわめて良識のある方々であり、私どもTCO'99にとりましても誠に喜ばしいことです。皆様がお選びになった製品はプロフェッショナルユースのために開発されたものです。また、この製品をお買い求めいただいたことで、皆様は、環境への負担を軽減すること、そして環境に適合した電子製品をさらに発展させることに貢献されたことになるのです。

なぜ私どもはコンピュータ及び周辺機器に環境ラベルを貼っているのでしょう?

今、多くの国では、環境ラベルを貼ることが品物およびサービスの、環境への適合を促進する ための確立された方法となっています。コンピュータとその他の電子機器に関して言えば、製 品そのものと、さらにそれらを製造する工程の中で環境に有害な物質が使用されていることが 主な問題です。大部分の電子機器は満足のいく方法でリサイクルすることができないため、環 境にダメージを与える可能性を持った物質の殆どは遅かれ早かれ自然界に入り込んでいってし まいます。

この他にも、コンピュータにはエネルギー消費レベルといった問題があります。この問題は、労働環境(内的)と自然環境(外的)という二つの側面から重要になってきています。発電方式は全て環境に対し悪影響(例えば、酸性放出物、気候に影響を与える放出物、放射性廃棄物など)をもたらすため、エネルギーを節約することはきわめて重要なことです。オフィスで使用されている電子機器はしばしば作動状態のまま放置されるため、莫大な量のエネルギーを消費していることになります。

TCO'99 ラベルは何を意味しているのでしょう?

この製品は、パーソナルコンピュータの国際環境ラベルを提供するTCO'99の要求事項を満たしています。このラベリング計画は、TCO(スウェーデン労働者組合)、Svenska Naturskyddsföreningen(スウェーデン環境保護団体)、Statens Energimyndighet (スウェーデンエネルギー局)による共同プロジェクトです。

TCO'99 承認の要求事項は、環境、エルゴノミクス、有用性、電磁界輻射、エネルギー消費、電気的安全性、火災に対する安全性など、さまざまな領域にわたっています。

TCO'99は、環境の項目では、重金属、臭素や塩素を含む難燃材、CFC(フロン)、塩素系溶剤などの含有および使用を制限することを課しています。ラベルが貼られた製品はリサイクルへの備えができていなくてはなりませんし、ひいては、製造者は実践していく場、すなわち所在国において環境保護にどのように対処するかの方針を持つことを余儀なくされるのです。

またエネルギーの項目では、コンピュータやディスプレイが一定時間使用されない場合、所定の時間が経過した後にそれらの消費電力を一段階またはそれ以上の複数段階を経て低いレベルまで節減することを要求しています。但し、再び使用する際、そのコンピュータはユーザーにとって不便のない程度の時間内で復帰することとなっています。

このラベルのついた製品は、例えば電磁界の低減、エルゴノミクス(身体面および視覚面) 有用性など環境に関して、厳しい要求事項を満たしていなければなりません。

この製品が満たしている環境要求事項の概略を右に示してあります。環境基準文書全文は下記宛てに要求することができます。

▶TCO Development Unit

S-114 94 Stockholm, Sweden

Fax: +46 8 782 92 07, Email: (Internet): development@tco.se

TCO'99の認証ラベリング製品に関する最新情報は、インターネットで下記のアドレスにアクセスして入手することができます。 ▶http://www.tco-info.com/

環境保護要求

難燃剤

難燃剤はプリント基板やケーブル、ワイヤ、キャビネット、コネクタに含まれています。これらは発火を防ぎ、少なくとも燃焼を抑えるために使用されます。コンピュータケースに使用されているプラスチックの30%までが、難燃物質によってできている場合もあります。難燃剤の多くは臭素系あるいは塩素系であり、これらの難燃剤は他の環境有害物質群、PCBとも関わりがあります。臭素系、塩素系難燃剤とPCBは、生体畜積*の作用により魚を食料とする鳥類や哺乳類の繁殖に与えるダメージを含む、健康状態への深刻な影響を引き起こすと考えられています。難燃剤は人体内の血液にも発見されており、研究者達は胎児の成長障害の可能性を懸念しています。

▶TCO'99は25g以上のプラスチック部品には有機結合した塩素や臭素を含む難燃剤が含まれていないよう要求しています。難燃剤のプリント板への使用は代用となる材料がないため是認されています。カドミウム**

カドミウムは、再充電式電池やある種のコンピュータディスプレイの蛍光体に含まれています。カドミウムは神経組織 にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。

▶TCO'99は電池、ディスプレイの蛍光体、ディスプレイに使用されている電気・電子部品にはカドミウムが一切含まれないよう要求しています。

水銀 **

水銀は、電池、継電器、スイッチに含まれていることがあります。水銀は神経組織にダメージを与え、多量に摂取する と中毒症状を引き起こします。

▶TCO'99は電池には水銀が一切含まれないよう要求しています。また、ラベルを貼られた製品に使用されている電気・電子部品には、水銀が一切含まれないよう要求してます。 CFC (フロン)

▶TCO'99 はCFCならびにHCFCを製品の製造過程や、組み立ての際に使用しないよう要求しています。CFC(フロン)はプリント基板を洗浄する際に使用されることがあります。CFCはオゾンを分解し、成層圏のオゾン層にダメージを与えます。その結果、地表に届く紫外線が増加し、例えば、皮膚がん(悪性黒色腫)になる危険性などが高まります。 鉛**

部は、CRT、ディスプレイのスクリーン、半田やコンデンサに含まれています。鉛は神経組織にダメージを与え、多量 に摂取すると鉛中毒を引き起こします。

▶鉛の代替物質はまだ開発されていないため、TCO'99 は鉛の含有を認めています。

- * 生体蓄積とは、生き物の体内に蓄積することを指します。
- ** 鉛、カドミウム、水銀は生体に蓄積する重金属です。

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせくださ い。エイゾーサポート一覧は裏表紙に記載してあります。

保証書・保証期間について

この商品には保証書を別途添付しております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の 有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、 大切に保管してください。

お買い上げ後、保証書に付属している「3年間保証登録カード」に必要事項を記入し、 保証書と切り離して必ずご返送ください。

保証期間は、お買い上げの日より3年間です。

当社では、この製品の補修用部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造 終了後、最低5年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故 障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談くださ 61

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い 求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

保証期間を過ぎている場合

お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号

お買い上げ年月日

販売店名

モデル名

製诰番号

(製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号 です。 例)S/N 12345678)

使用環境

(コンピュータ/グラフィックスボード/OS・システムのバージョン/表示解像度など) 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)